

笹目6丁目町会

大澤 美穂さん



[Profile]

4年前に現在の町会に加入。
2児の子育てをしながら、フ
ードパントリーの際の射的な
どに主体的に参加している。
地域に根差すためにも、地域
を自ら知ることが大切。ご近
所と挨拶を交わすことからコ
ミュニティを形成中。

「おかえり」「ただいま」って挨拶ができる。それだけでも
ここに住んで良かった、と思えます！

[Interview]

Q. 戸田市にはずっとお住いなのですか？

結婚して戸田市に住むようになりました。子どもが出来てライフスタイルが変わったことを機に笹目6丁目に住むようになり、4年目になります。今の一軒家に根をおろして過ごそうと思っています。

Q. 町会にはどのように入りましたか

町会には自然な流れで入るものなのかなと思って加入しました。同じ区画に住んでいる方から声をかけてもらって入りました。

Q. どのような活動をしていますか

子育て世代の LINE のグループがあって、町会長からお手伝いのお願いが発信されてくるので、協力できる時は個人的に返信しています。例えば、町会会館で行っているフードパントリーは自分自身も参加しているので、その時に射的のお手伝いに参加したり、星空観察会の受付をしたりしています。

私たち家族は、地域に住んでいるからには主体的に参加していきたいと思っています。ただ、小さい子どもがいるので、活動にも制限は出てきてしまいますね。



Q. 活動をしていてよかったと感じるところはどこですか？

人が集まると活気を感じて、こんなに人がたくさん住んでいたらんだなと感じます。この活気を大切にして行けたら良いなと思います。

フードパントリーは高齢の方から子ども連れの方まで、たくさんの方が集まっています。



Q.その活気はつないでいきたいですね！

そうですね！

そのためにもノウハウのある方にいていただくということが大事だと思います。私自身、中心となるタイプではないので、ノウハウがある方に引っ張っていただきながら、協力していければと思います。それなら私以外にも賛同してくれる人はいると思います。



Q.活動をしていて大変だと感じる場所はどこですか？

今と昔の生活スタイルの違いがあるので、大変な部分があると思います。

昔は電気屋さんが配線、酒屋さんが飲み物の準備、など、自分の仕事の延長だったり、ノウハウを生かして活動することができていました。外に開いているご家庭も多かったし、自分のお店の活性化にもつながり、win-winな関係だったのかなと。

でも今はそういうお仕事ではない方も多く、仕事やプライベートをあまり人に言いたくないという人もいらっしゃいます。仕事と全く関係ないところで、プラスαの活動になってしまっているの、時代に合わせて変えていくことも必要なのかなと思います。

私自身は、子育て真っ最中なので、積極的に手伝っていくのが難しいなあと感じています。子ども連れでも良いよと言っていたのですが、参加者の方々の安全面などを考えると、なかなか難しいですね。

Q.地域の方々と今後どのようにかかわっていきたいですか？

笹目6丁目に住み始めて思うのは、本当に近所の方が良い方、ということです。

コロナ禍で家に居る機会が増えて、家の前で遊ぶ時間も増えました。そのおかげで、ご近所の方に声をかけてもらったり、挨拶をするようになりました。

「おかえり」「ただいま」って挨拶を交わせるだけでも、ここに住んで良かったなって思います。ちょっとずつ、ちょっとずつ年輪が広がるように年数を重ねていくものなのかなと思います。住み始めて日が浅いので、ちょうどいいかわり方かなあと思います。

Q.町会に加入していない方に一言お願いします。

普段は良くても、有事の時に住んでいる地域と繋がりが無いのは怖いなと思います。

町会に加入すると、避難所など、いただける情報があるとお聞きしました。

町会とは、何かあったときにご近所の方と「一緒に避難しましょう」とか「お家の中大丈夫？」とか声掛けができるようなコミュニティづくりだと思います。

地域を自分から知るきっかけ、地域に愛着を持つきっかけになると思いますよ！